



お客さま本位の業務運営に関する取り組み状況 (2022年度)

2023年6月
株式会社 F D A L C O

◆方針の内容

株式会社FDALCO（以下、当社）では、お客さまのライフプランや目標の実現に向けた投資助言や事業承継・相続も踏まえた資産管理アドバイスを行うにあたり以下に定める「お客さま本位の業務運営」を実現するための基本方針を定め、誠実・公正な業務運営に努めてまいります。

また、本基本方針に係る取組状況を定期的に公表するとともに、より良い業務運営の実現に向けて定期的に基本方針の見直しを行うことで、「お客さま本位の業務運営」を充実させてまいります。

◆取組みの内容 当社ホームページにて方針の内容について公表を行っております。



株式会社FDALCO

〒920-8670 石川県金沢市広岡2丁目12番6号

顧客情報保護に関する基本方針 / **お客さま本位の業務運営に関する方針** / 反社会的勢力への対応方針 /
利益相反管理方針 / 顧客情報の共同利用について（北國フィナンシャルホールディングス） /
投資助言・代理業に関するご留意事項 / ソーシャルメディア利用ポリシー（北國フィナンシャルホールディングス） / 電子公告

◆方針の内容

当社は、投資助言や資産管理アドバイスを行うにあたり、職業倫理を保持し、自ら持つ専門知識を最大限に発揮しつつ、お客さまに対して誠実・公正に業務を行い、お客さまの最善の利益を追求いたします。

◆取組みの内容 以下についてホームページにおいて公表を行っております。

北國FHDにおける「企業理念」「経営方針」「倫理憲章」「20の心得」 当社における「アドバイス方針」



豊かな明日へ、
信頼の架け橋を
～ふれあいの輪を拡げ、
地域と共に豊かな未来を築きます～

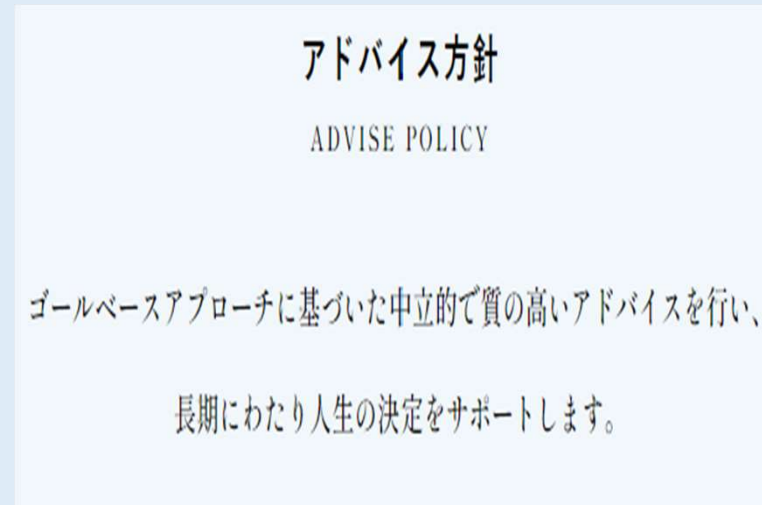
企業理念
経営方針
倫理憲章

企業理念
①地域の社会運営、経済、文化、生活などに対する高い見識に基づいた、総合的な情報と金融サービスの提供
②地域のさまざまな活動の推進のリーダーシップをとることによって、信頼を獲得し、地域の豊かな未来への架け橋となることを目指します。

経営方針
地域経営のリーダーとして
①健全経営を維持し、お客さま・株主・従業員の幸福実現に努めます。
②総合的な金融サービス機能の拡充に努めます。
③人材の育成と組織の活性化に努めます。

倫理憲章
①信頼の確立
私たちは、社会的責任と公共的使命を認識し、健全な業務運営を通じて、信頼の確立を図ります。
②法令等の遵守
私たちは、法令やルールを遵守し、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。
③地域社会への貢献
私たちは、多様な良質な金融サービスの提供を通じて、地域社会の発展に貢献します。
④反社会的勢力との対決
私たちは、地域社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは、断固として対決します。
⑤経営の透明性の確保
私たちは、広く地域社会とのコミュニケーションを回り、経営の透明性を確保します。

北國FHDホームページより



アドバイス方針
ADVISE POLICY

ゴールベースアプローチに基づいた中立的で質の高いアドバイスを行い、
長期にわたり人生の決定をサポートします。

当社ホームページより

◆取組みの内容

- 「ご相談」から「継続的なサポート」までお客さまのニーズに応じて長期的に寄り添うことで、お客さまの「夢」や「目標」といったライフプランのゴールの実現に向けて伴走いたします。
- 社内会議にてお客さまの課題解決のための協議を行い、多面的な視点からお客さまに提示するライフプランを作成致します。
- 外部専門家の知見も活かし正確かつガバナンス効果を発揮したアドバイスができるような体制に努めております。

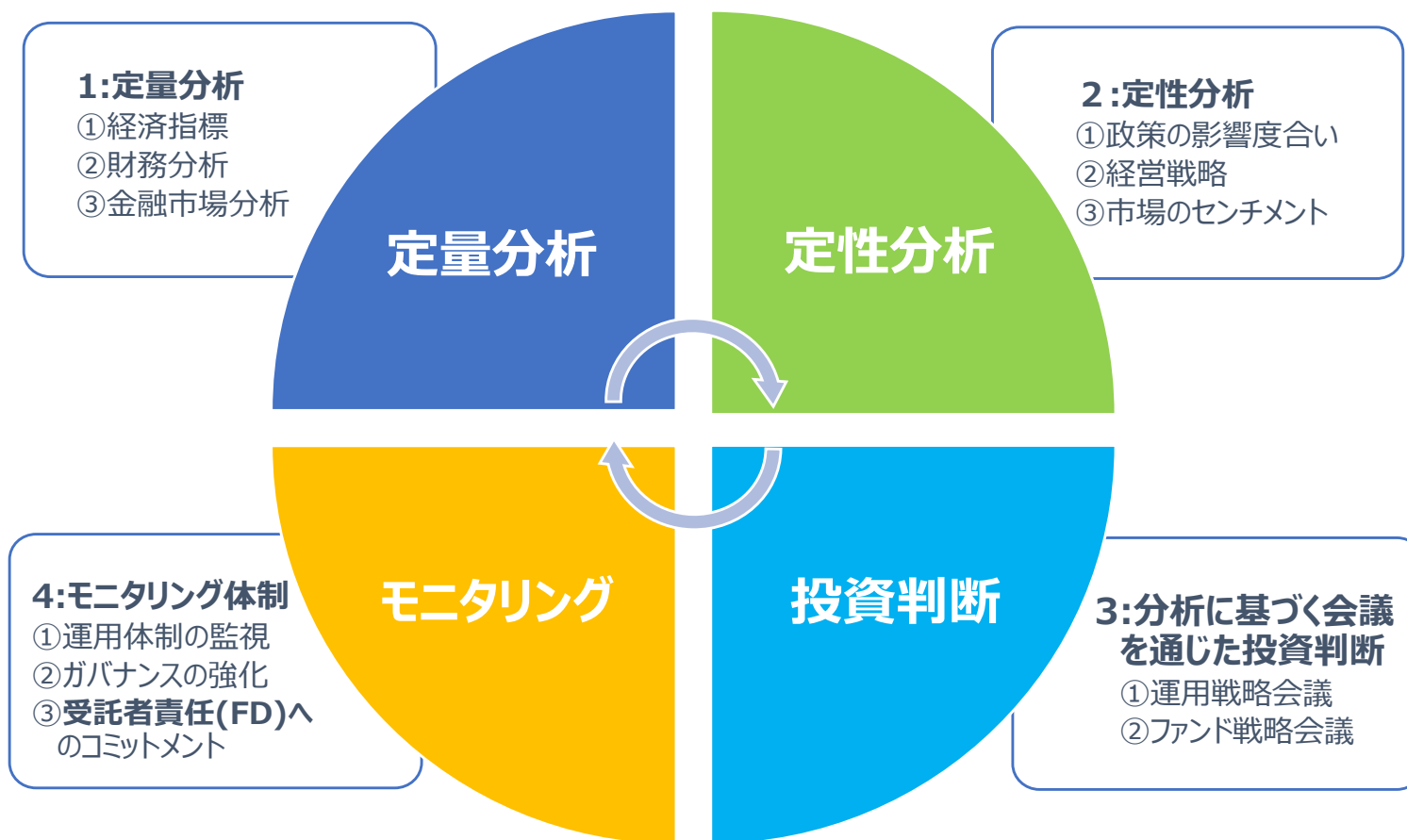
ご相談の流れ

FLOW

- | | |
|----------|--|
| STEP 01. | ご相談お申込み
ご相談のお申込みはメール、電話にて承り、ご面談日時を決定します。 |
| STEP 02. | サービスのご説明
当社が提供するサービスについて説明します。 |
| STEP 03. | ご意向、現況のご確認
お客さまの夢や目標、不安な点についてお聞かせください。
ご資産の現況や家計収支などを確認します。 |
| STEP 04. | 現状分析
高度な知識を活用し、現状を分析し、あるべき姿を考えます。 |
| STEP 05. | ライフプランニング
夢や目標の実現に向け、中立的かつ具体的な対策をプランニングします。 |
| STEP 06. | 実行・サポート
対策の実行、プランニングの実現に向けたサポートを行います。 |
| STEP 07. | 継続的なサポート
長期的に計画をサポートし、変化に対応します。 |

◆ファンダメンタルズ分析に基づく投資判断プロセス

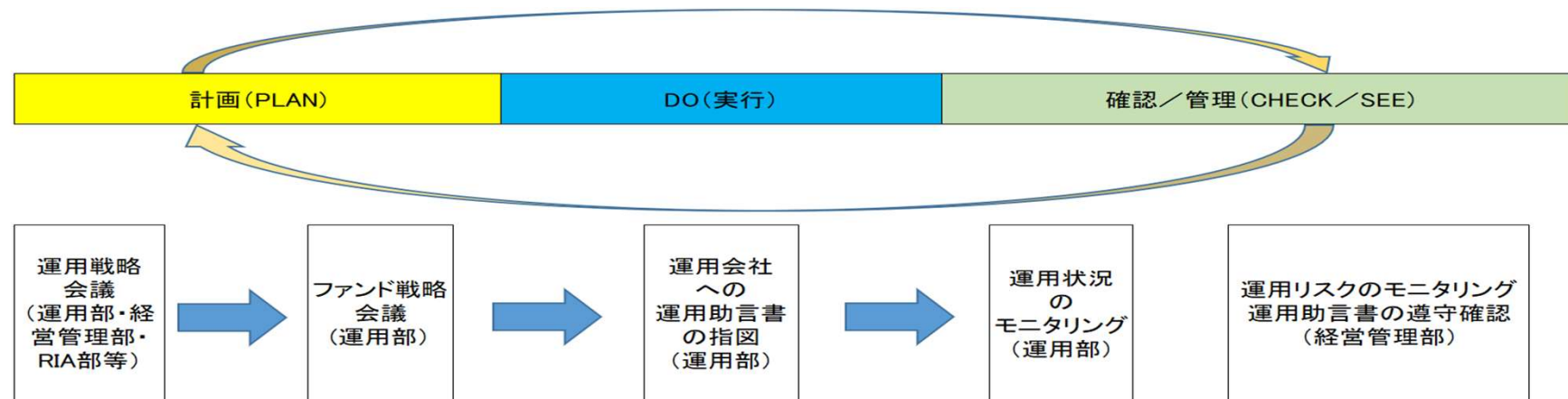
「①定量分析→②定性分析→③投資判断→④モニタリング」
のサイクルを行いパフォーマンスの向上に努めます。



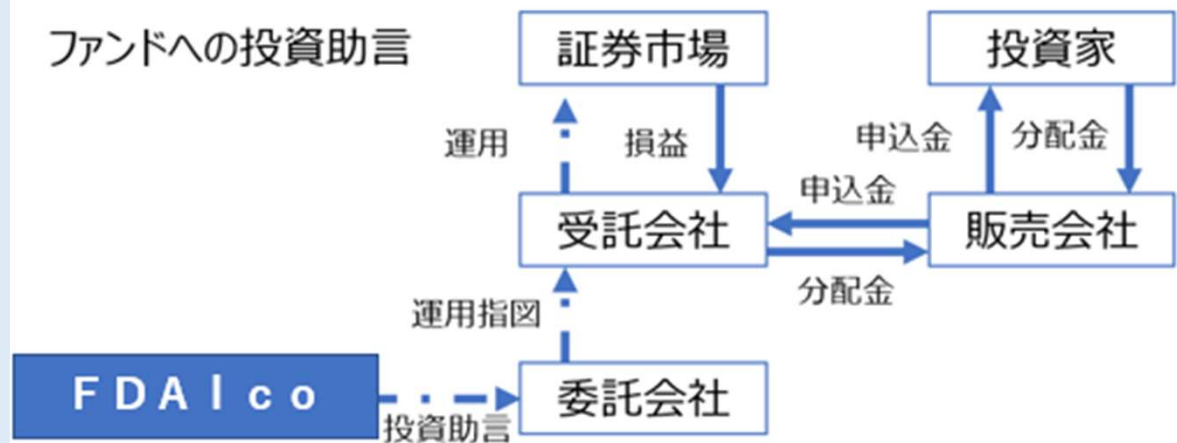
取組方針 2 .お客さまの最善の利益の追求

◆パフォーマンスの再現性を追求する運用体制の構築

「計画→実行→確認/管理体制」を構築し、チームで運用を行いパフォーマンスの再現性を高めるよう努めております。



ファンドへの投資助言



【北國銀行販売用投資信託】



取組方針 3 .利益相反の適切な管理

◆方針の内容

当社は、利益相反の弊害を防止する観点から、ご提案内容を検証することにより、適切な管理をいたします。

◆アクションプラン

- 当社が組成に携わった金融商品を推奨する場合も、優先推奨が生じないように留意いたします。
- 当社と同一グループに属する別の会社が販売、提供する商品やサービスを推奨する場合も、優先推奨が生じないように留意いたします。

◆**取組みの内容** 当社ホームページにて「利益相反管理方針」の公表を行っております。

「利益相反管理方針」(一部抜粋)

利益相反管理方針

株式会社北國フィナンシャルホールディングス(以下「当社」といいます)は、当社または当社のグループ会社とお客さまの間、ならびに、当社または当社のグループ会社のお客さま相互間における利益相反のおそれのある取引に関し、法令等および利益相反管理方針(以下「利益相反管理方針」といいます)に従い、お客さまの利益を不当に害することのないよう適正に業務を遂行いたします。当社は、法令等に従い、当社の利益相反管理方針の概要をここに公表いたします。

◆方針の内容

当社は、金融商品の販売や仲介による手数料は受け取りません。当社は、お客さまの財産等の現状分析及び課題に対する対応策、投資資産に関する投資助言等を行い、その助言の対価としての手数料を受け取りますが、その名目を問わず、お客さまが負担する手数料等の情報を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、お客さまが理解できるように提供いたします。

◆アクションプラン

助言を行うに際し、お客さまが負担する手数料等の情報をわかりやすく説明・提供するほか、ホームページ、パンフレット、タブレット端末等にて開示いたします。

◆取組みの内容

当社ホームページにて個人のお客さま向けサービスの料金表の公表を行っております。

ライフプラン相談(90分)		16,500円～
ファイナンシャルプランニング	資産運用のご相談	220,000円
	相続のご相談	220,000円
ウェルスマネジメント		660,000円
継続サポート		55,000円～

※料金表の価格は消費税込です。

取組方針 5 .重要な情報のわかりやすい提供

◆方針の内容

当社は、金融商品に関してお客さまが負担する手数料等のほか、重要な情報（リスク・リターン、お客さまに助言・推奨を行う金融商品の選定理由、利益相反等）をお客さまが理解できるようわかりやすく提供いたします。

◆アクションプラン

- お客さまの投資経験や金融知識を考慮の上、各金融商品に関する重要な情報をわかりやすい言葉を使って提供いたします。
- ホームページ、パンフレット、タブレット端末等にて金融知識の向上に役立つ情報や当社グループのサービス内容の情報をわかりやすく提供いたします。



取組方針 5. 重要な情報のわかりやすい提供

◆ 取組みの内容

- お客さまに交付するレポートでは、専門用語を避けた表現や図表等を用いてわかりやすい説明を心掛けます。
- 社員のマーケット知識向上を図るべくマーケット勉強会を実施し、お客さまに対し付加価値の高い情報提供を行います。
- ホームページに月次で「経済・金融市場レポート」を配信し、お客さまの金融リテラシー向上に努めます。

	実績		予想	
	12月末	3月末	4月～6月	7月～9月
日経平均	26,094.50	28,041.48	24,000～30,000	24,000～30,000
S&P500	3,824.14	4,109.31	3,200～4,400	3,200～4,400
円債10年	0.410%	0.320%	0.00%～0.50%	0.00%～0.80%
米債10年	3.74%	3.47%	2.50%～4.50%	2.50%～4.50%

■当資料は、情報提供を目的として、FDアドバイザーが作成したものです。特定の運用商品等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
 ■当資料にもとづいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
 ■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。
 ■当資料は当社が信憑性の高いと判断した情報等に基き作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

FDA 相場・マーケット情報

世界経済・金融市場動向 (日本)

◆ 先月の振り返り

01 日本株式市場
4月の日経平均株価は上昇しました。上旬は世界的な景気後退懸念や円高進行が懸念され株価は下落しました。その後、米閣議名簿発表が日本株への追加投資を後押しし、相場は持ち直した。最終的に企業決算を材料に株価は上昇しました。また、月末に日銀が金融緩和を維持したことから投資家心理が改善し、相場を拡大しました。

02 日本債券市場
4月の日本長期金利は上昇（価格が下落）しました。月前半は日銀の金融政策正常化が予想される中、10年国債入札が低調な結果に終わったことや海外金利上昇に連れ金利は上昇しました。月末には日銀がCETを公表し、銀行の金融緩和策の維持を決定、声明等からは政策正常化は時間を要すると考えられ金利上げ幅は縮小しました。

◆ 経済金融環境

01 日本経済環境
2022年10～12月の高純ギブは11期連続で押し下げられ、このままでは景況が改善しないものと見られており、インフレ率も回復ペースの鈍化に懸念が広がっています。一方で、物価高の懸念が軽減され、企業業績も回復ペースが速くなると見られています。

02 今後の見通し
01 日本株式市場
新型コロナウイルスの感染拡大や、旅行業や飲食業などの内需を中心に経済活動の正常化が進む一方で、グローバルな景気後退懸念や円高進行による輸出競争力低下などの懸念が依然として株価を押し下げる要因になると考えられます。

02 日本債券市場
4月日銀金融政策決定会合で2%の物価安定目標を目標とする一方で、グローバルな景気後退懸念が依然として金利の上昇余地を狭くする要因になると考えられます。

◆ 今後の見通し
01 日本株式市場
FRBによる利上げ停止が見込まれるものの、インフレ止まりや中堅銀行による貸出減速懸念が依然として金利の上昇余地を狭くする要因になると考えられます。

FDA 相場・マーケット情報

世界経済・金融市場動向 (米国)

◆ 先月の振り返り

01 米国株式市場
4月のS&P500指数は上昇しました。上旬はOPEC+の減産報道を背景にエネルギー株が上昇しましたが景気後退への懸念も依然強く、一進一退の展開となりました。その後、物価動向の鈍化が確認され、相場は持ち直したことから株価は上昇しました。下旬には金融システム不安から急落する場面もありましたが、一部の大手ハイテク企業決算が好成績で、株価は上昇しました。

02 米国債券市場
4月の米国長期金利は低下（価格は上昇）しました。月前半は景気後退懸念から景気後退が懸念され金利が低下する場面もありましたが、堅固な雇用統計や米連邦準備制度理事会の声明を受けて金利は上昇しました。月後半は米連邦準備制度理事会の声明を受けて金利は低下しました。

◆ 経済金融環境

01 米国経済環境
1-3月期実質GDPは1.1%成長と大幅鈍化しました。個人消費が堅調な一方、企業の在庫投資が減少しており金利引上げのペースが鈍化すると見られています。3月以降、MMFの資金流入額は約3,600億ドル増加している状況です。

02 今後の見通し
01 米国株式市場
FRBによる利上げ停止が見込まれるものの、インフレ止まりや中堅銀行による貸出減速懸念が依然として金利の上昇余地を狭くする要因になると考えられます。

02 米国債券市場
5月FOMCはこれまで追加利上げを示唆してきた一方で、インフレが鈍化してきたこと、今後の物価動向によってはインフレ高止まりの材料が必要と考えられ金利の上昇余地は限定的と見られます。他方、欧州では依然として物価高水準で推移していることから、急激な雇用回復等が発生しない場合は金利の低下余地に留意して利上げが検討されていると見られます。

◆方針の内容

当社は、コンサルティング等を通じて、必ずお客さまの資産状況、投資経験、金融知識及び目的・ニーズ等を確認し、ふさわしい金融商品やサービスを推奨いたします。

◆アクションプラン

- 個人のお客さまへは、人生設計（ライフプラン）を基に、ライフステージ毎に発生するイベントにより必要となる資金額を踏まえ、その必要額を準備するための資産形成を提案いたします。
- 法人のお客さまへは、貸借対照表や損益計算書といった財務諸表を基に、将来的な事業計画を踏まえ、資本効率の改善や中長期的な財務基盤の強化を目指し最適な運用計画を提案いたします。
- お客さまと対面して金融商品やサービスを提案する前には必ず、投資に関する理解度を確認いたします。
- 推奨する金融商品については、投資経験が少ないお客さまにも理解しやすく、中長期的に安定的なリターンを目指すもので、中長期的な資産形成のニーズに応じられるように手数料負担の少ない金融商品を選択いたします。
- お客さまとの貴重な接点を大切に、コミュニケーションを深め、お客さまから「相談される関係」の構築に努めます。
- 個人のお客さまへは、お客さまの状況・投資経験・リスク許容度を踏まえ、お客さまにとってふさわしい商品であるか慎重に検討しご家族・ご親族の同席をお願いする等慎重に対応いたします。
- 法人のお客さまへはお客さまの状況・投資経験・リスク許容度を踏まえ、お客さまにとってふさわしい商品であるか慎重に検討し利害関係者の同席をお願いする等慎重に対応いたします。
- 継続的なアフターフォローにより、中長期的な資産形成のサポートに努めます。
- お客さまの保有資産の運用状況、資産配分に配慮し、お客さまの意向に沿ったアドバイスに努めます。
- お客さまに対し、事業承継・相続も踏まえた資産管理アドバイスを行う際には、資産状況やご家族の状況、目的、ニーズを確認し、よりふさわしいサービスや商品、制度を推奨、アドバイスすることに努めます。

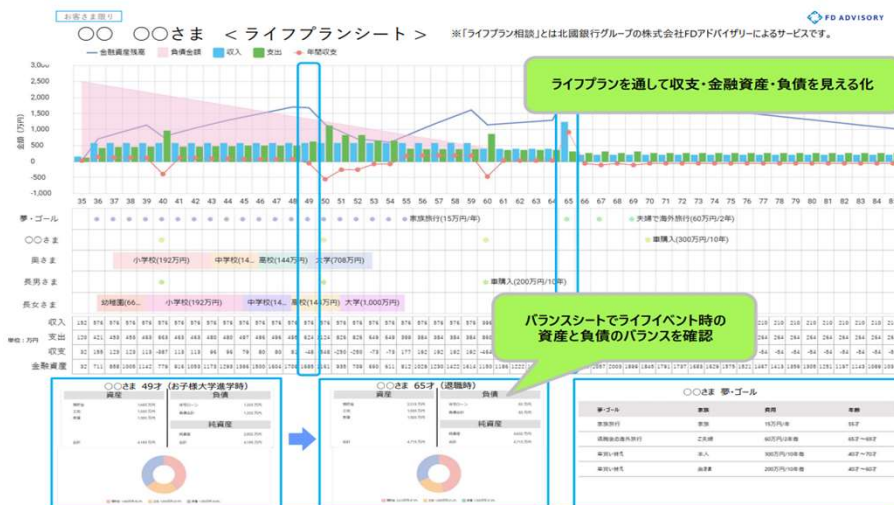
取組方針 6 .お客さまへのふさわしいサービスの提供



◆取組みの内容

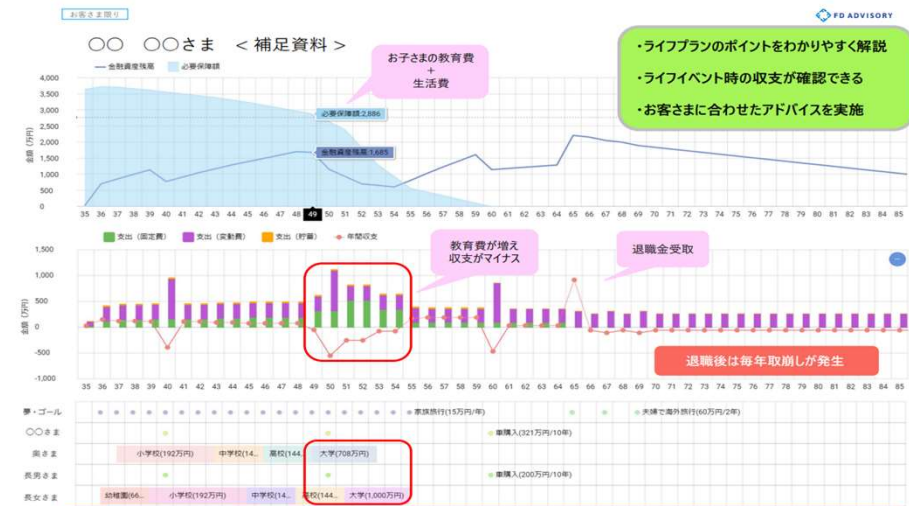
- 情報収集に努め、わかりやすく丁寧な説明を心掛けます。
- 個人のお客さまのライフプランの作成にあたり、お客さまの夢や目標をお聞きし現状の収支状況を確認します。将来の見える化、お金の計画を立てるうえで当社ソフト「Myライフ」を用いて、より具体的なライフプランシミュレーションを作成いたします。
- ライフプランシミュレーションの結果を基に、ライフステージ毎に必要な資金を確認し、真にお客さまに必要で、そしてお客さまに適した資産形成の方法をご提案いたします。
- 継続的なアフターフォローとして「継続フォローサービス」を用意しております。お客さまと定期的な接点を持ち、将来の安心をサポートします。
- お客さまへのアドバイスにおいては、税制優遇等も活用し、コスト面を踏まえたお客さまの利益を最優先にした提案を行います。
- アドバイスは土業等各種専門家とも連携しながら幅広い提案を行います。

当社ソフト「Myライフ」イメージ



ご注意：実際の取引実行に際しましては、事前に顧問弁護士・税理士・弁護士等の専門家にご相談ください。

The FD Advisory Ltd. All rights reserved.



ご注意：実際の取引実行に際しましては、事前に顧問弁護士・税理士・弁護士等の専門家にご相談ください。

The FD Advisory Ltd. All rights reserved.

取組方針 6 .お客さまへのふさわしいサービスの提供

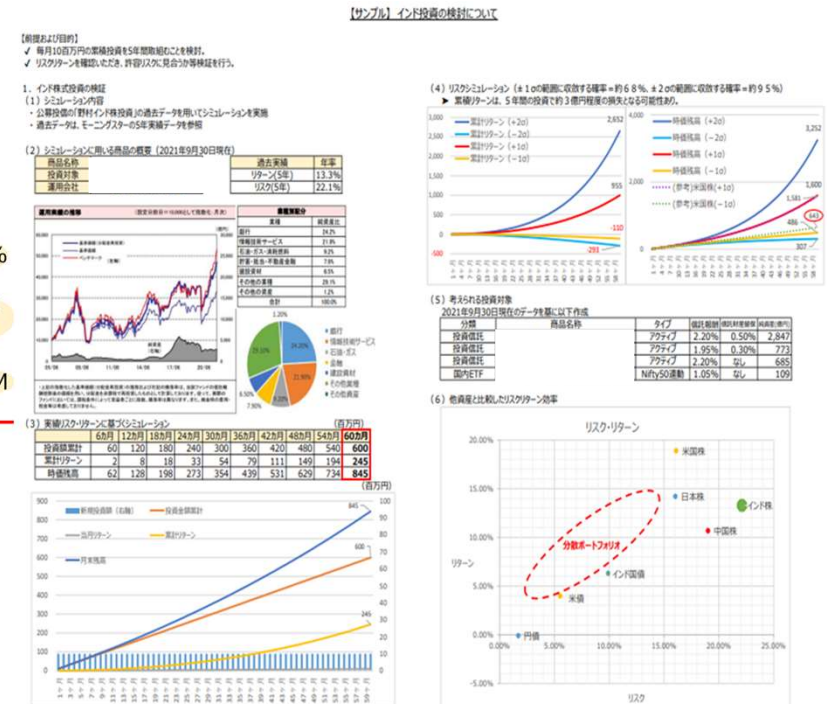
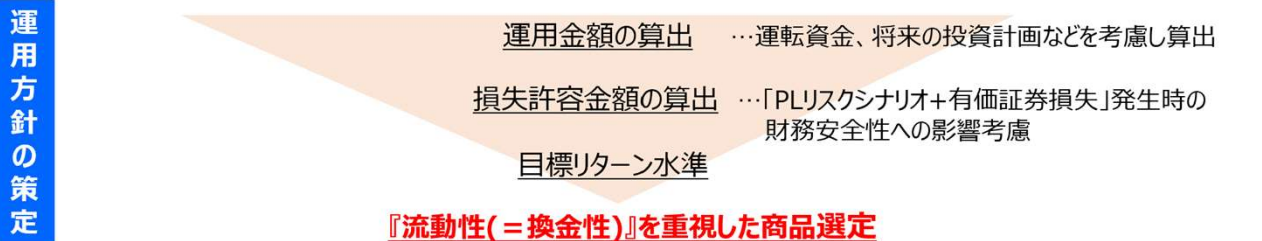
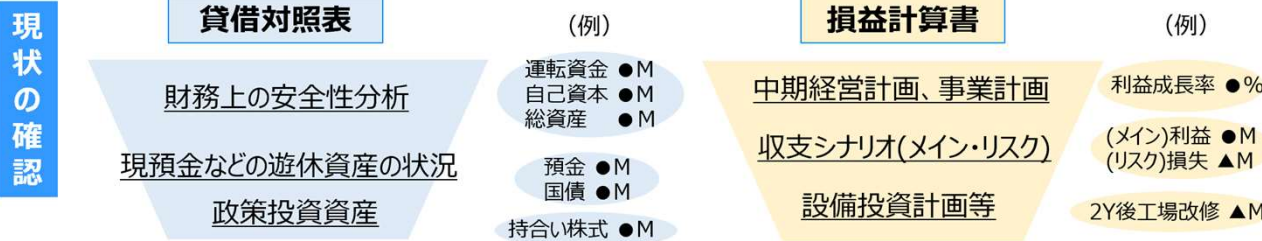


◆取組みの内容

- 情報収集に努め、わかりやすく丁寧な説明を心掛けます。
- 法人のお客さまへの運用計画作成にあたり、貸借対照表や損益計算書といった財務諸表や今後の事業計画を基に定量・定性的な分析を行います。
- 伴走型のサービスにおいては、日次でポートフォリオ状況をモニタリングし、投資計画策定時にお客さまと共有させて頂いたリスク・リターンとなるように投資助言ができるよう努めます。
- 伴走型のサービスにおいては、原則月1回程度は足許の相場環境や今後の見通しについて当社の考えをお客さまに提供し、お客さまのポートフォリオ管理や運用が適切に運営できるよう助言いたします。

「法人向け投資助言サービス」イメージ

■ 定量・定性的な分析に基き、運用方針の策定をサポートさせていただきます。



◆方針の内容

当社は、「お客さま本位の業務運営に関する方針」に関する教育・研修を行い、本方針が企業文化に定着するよう取組んでまいります。

◆アクションプラン

- 社員に対して、専門知識や倫理観の向上のため、階層・ランクに応じた研修を実施いたします。
- 当社では営業目標を設定せず、社員のお客さまへの提案状況等の行動を評価することといたします。
- 取組状況については社内で定期的に進捗管理を行い、定期的に見直しいたします。

◆取組みの内容

- 社員に対して勉強会を定期的を実施し、専門知識向上に努めます。
- 提案内容については社員間での様々な意見を取り入れ、提案内容の質の向上を図ります。
- アンケートにてお客さまから頂いた、提案内容やアドバイザーの対応等に対する評価に関しては真摯に受け止め、サービスの質向上の為、改善に取り組みます。
- 運用会社からのデューデリジェンスを通じて、適切な運用体制の構築に努めています。
- 日本投資顧問業協会の協会規則を遵守し高い倫理観をもって業務を遂行しております。